

小学3・4年生の本





もくじ



あつめた・そだてたぼくのマメ図鑑 1	月へ行きたい …………… 6
いえででんしゃ …………… 1	つるばら村のパン屋さん …………… 7
いつもちこくのおとこのこ -ジョン・パトリック・ノーマン・マクハネシー … 1	どうぶつ はいくあそび …………… 7
大どろぼうホッツェンプロッツ … 2	時計づくりのジョニー …………… 7
カステラ、カステラ! …………… 2	長くつ下のピッピ …………… 8
カッパのぬげがら …………… 2	日本のむかしばなし …………… 8
火曜日のごちそうはヒキガエル … 3	ひとしずくの水 …………… 8
からすたろう …………… 3	1つぶのおこめ …………… 9
口で歩く …………… 3	火のくつと風のサンダル …………… 9
ケータイくんとフジワラさん … 4	びりっかすの神様 …………… 9
サイテーなあいつ …………… 4	ピロードうさぎ …………… 10
しごとば …………… 4	ホネホネたんけんたい …………… 10
世界あちこち ゆかいな家めぐり 5	ぼくちのねこのはなし …………… 10
世界でいちばんやかましい音 … 5	ルイー・ジといじわるな へいたいさん …………… 11
セロひきのゴーシュ …………… 5	
龍の子太郎 …………… 6	
小さな山神スズナ姫 …………… 6	



あつめた・そだてたぼくのマメ図鑑 (ちしきのぼけつと21)

いろいろな色、いろいろな大きさ、いろいろなマメ、マメ、マメ…。ゲッチョ先生こと盛口満が、わかりやすいイラストでたくさんのマメを紹介します。

盛口満／絵・文
岩崎書店

いえでででんしゃ

ママなんか大きらい！花びんをわったの、わたしじゃないのに…。「ムジツのツミ」を着せられて、さくら子は家出した。駅のホームに一人でいたら、へんなボロ電車がやってきた。すごいやせっぽちのしゃしょうさんは、この電車は「いえでででんしゃ」だと言う。家出する子は、だれでもただで乗れるんだって、さくら子が電車に乗りこむと…。

つづきのおはなしに『いえでででんしゃはこしょうちゅう？』があります。



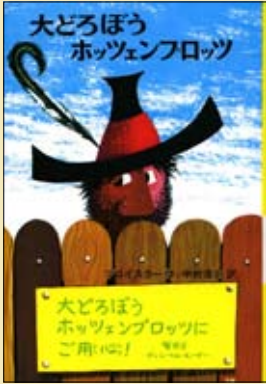
あさのあつこ／作 佐藤真紀子／絵 新日本出版社

いつもちこくのおとこのこ — ジョン・パトリック・ノーマン・マクヘネシー



学校へ行こうとすると、わにやライオンや「たかしお」にじゃまされて、ちこくばかりのジョン。先生にわけを言っても「このあたりのげすいにわになどずんでおらん」としんじてもらえず、おこられ、はんせいさせられてばかり。今日はちこくせず、ぶじ学校につくことができました。ところが先生が？につかまってやねからおりてこられません。先生はおこって下におろすようにめいれいしますが…。？はよんでのおたのみみ。

ジョン・バーニンガム／さく たにかわしゅんたろう／やく
あかね書房



大どろぼうホツェンプロット

おばあさんがだいじにしていたコーヒーひきが、大どろぼうホツェンプロットにぬすまれた！！ カスパールはそれをとりもどそうと、なかよしのゼッペルといっしょに大どろぼうのついせきをはじめます。

オトフリート・プロイスラー／作
フランツ・ヨーゼフ・トリップ／絵
中村浩三／訳 偕成社

カステラ、カステラ！

16世紀に海をこえて遠いポルトガルからやってきたお菓子。はじめて食べた日本人は、甘くて、きれいな色のそのお菓子里にびっくり！ 今では、だれもが知ってるカステラのおはなしです。



明坂英二／文
齋藤芽生／絵
福音館書店



カッパのぬげがら

カッパは百年にいったっぴをすって知っていた？

ゲンタはカッパからぬぎたてほやほやのぬげがらをもって、カッパになったんだ。

カッパになるってとってもゆかいなことみたい！？

なかがわちひろ／作
理論社



火曜日のごちそうはヒキガエル

心やさしいひきがえるウォートンは、雪がつもっている冬だというのに、おばさんにおかしをとどけに行くために外に出て、みみずくにつかまってしまいます。みみずくは六日後の火요일がたんじょう日で、ウォートンがそのたんじょう日のとくべつなごちそうだということです。火요일まではすきにしていといわれたウォートンですが、はたして、六日後このまま食べられてしまうのでしょうか…？

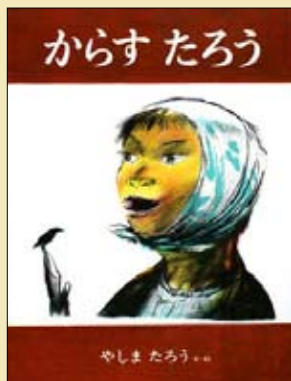
ラッセル・E・エリクソン／作

ローレンス・ディ・フィオリ／絵 佐藤涼子／訳 評論社

からすたろう

六年間、一日も休まず遠い山から学校にかよいつづけたちびは、ずっとのけものにされ、いつもひとりぼっちでした。学芸会で、ちびはからすのなきまねをします。それを聞いた時、クラスみんなは、自分たちがちびにつらくあたってきたことを思い出して、なみだをながします。

やしまたろう／文・絵
偕成社



口で歩く

タチバナさんは、生まれてから二十数年寝たつきり。体は思うように動かないけど、天気の良い日は『当たり前』のこととして散歩に出る。お母さんに家の前の道まで出してもらって、移動式のベッドに寝たまま、人が通るのを待つ。行きたい方向に歩いている人を呼び止めて、ベッドを押しってもらうのだ…。

丘修三／作 立花尚之介／絵
小峰書店



ケータイくん と フジワラさん

古いガラケー電話のケータイくんは、電気屋さんのたなにならんだまま1さいになってしまいました。ある日、電気屋さんにひとりのおじいさんが入ってきました。最新さいしんのケータイ電話たちは、「あんなじいさんを買われたくない！」と大さわぎ。ケータイくんも、「ぼくだって！」とさげびしましたが…。

市川宣子／作 みずうちさとみ／絵
小学館

サイテーなあいつ

四年生になって最初のせき決め。カオルが引いたクジで、となりのせきになったのは、なんとクラスみんながサイテーさいしよと思っているソメヤだった。小学生ライフの半分は、だれがとなりのせきになるかで決まるというのに…。これでカオルの一学期は、サイテーになるはずだったが…。

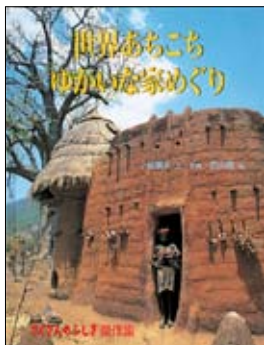
花形みつる／作 垂石眞子／絵
童話館出版



しごとば

美容師びようし、新幹線の運転士しんかんせん、すし職人しよくにん…。なんとなくあこがれる10種類の職業が詳しい図解に。仕事道具や仕事の流れがわかる。「しごとばシリーズ」として6巻まであります。

鈴木のりたけ／作
ブロンズ新社



世界あちこち ゆかいな家めぐり

モンゴルの大草原の移動できる家や、みんなで輪になってくらす家、屋根がさかさまな家など、世界のゆかいな家とその家でくらす人びとの様子を写真とイラストで紹介した本。

日本の家とはだいぶちがうけれど、ちょっと住んでみたくなる家ばかりです。

小松義夫／文・写真 西山晶／絵
福音館書店

世界でいちばんやかましい音

ガヤガヤの都は、世界で一番やかましいところ
です。なかでも一番やかましいことがすきな
のはギャオギャオ王子さまでした。王子
さまのたんじょう日が近づいたある日、
王さまが「たんじょう日のおくりものは
何がいいかな？」と聞くと、王子さま
は「ぼく、世界でいちばんやかましい音
が聞きたい」…。

ベンジャミン・エルキン／作 松岡享子／訳
太田大八／絵 こぐま社



セロひきのゴーシュ

ゴーシュは町の活動写真館（えい画館のこと）でセロ（チェロ）をひくかかり、でも、あまり上手ではありません。その日も楽長にしかられてしまいました。夜、水車小屋でゴーシュが練習をしていると、みけねこが、カッコウが、たぬきがやってきて…。

宮沢賢治／作 茂田井武／画
福音館書店



龍の子太郎

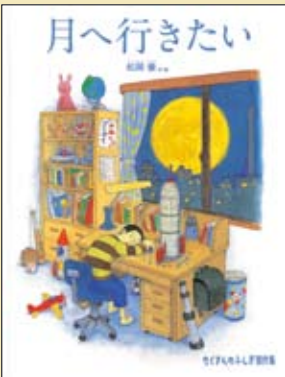
ばあさまとふたりきりでくらす太郎は、のんきぼうずのなまけんぼう。ある日太郎は、ばあさまから、太郎のお母さんが生きていないかもしれないと聞かされます。りゅうになって、遠い北のみずうみにいってしまったというお母さんをたずねて、太郎は旅に出るのです。

松谷みよ子／著 田代三善／絵
講談社

小さな山神スズナ姫

山神のひとり娘のスズナ姫は、三百歳。山を紅葉させる仕事ができたら、ひとりだちしていいと、お父さんがやくそくしてくれました。実はお父さんはまだまだスズナ姫にはできっこないと思っていたのですが…。

富安陽子／作
飯野和好／絵
偕成社



月へ行きたい

遠い月までどうやって行こう？満月の夜、男の子はいろいろ考えた。小学生が3億人つながってようやくたどりつく、38万キロの長い距離。いったいどうしたら行けるのだろう。

松岡徹／文・絵
福音館書店



つるばら村のパン屋さん

くるみさんは、つるばら村で、宅配のパン屋さんをしています。「はちみつたくはちのパン」「ドングリのパン」「三日月のパン」など、どれもかわった注文のパンを焼き上げます。たとえば「あんこのパン」はおへそに桜の花ではなく煮干しにほをのせてなんていわれます。だれが注文しているのかしら？

茂市久美子／作 中村悦子／絵
講談社

どうぶつ はいくあそび

日本にむかしからあったいちばんみじかい詩、はいく。からすのかーすけや、きりんのきりこ、やぎのやぎえもんたちが、五字、七字、五字をつなげ、そのなかにきせつのことばをいれ、いろんな気持ちをこめます。かわうその「ふるかわうそはち」の感想に、えみがこぼれることでしょう。

きしだえりこ／作 かたやまけん／絵
のら書店



時計づくりのジョニー

ジョニーはものを作るのが大好きな男の子。ある日ほんものの大時計を作ろうと思い立ちます。でも、まわりの人は「できっこないよ」というばかり。はたしてジョニーの大時計はできあがるのでしょうか？

エドワード・アーディゾーニ／作
あべきみこ／訳
こぐま社



長くつ下のピッピ

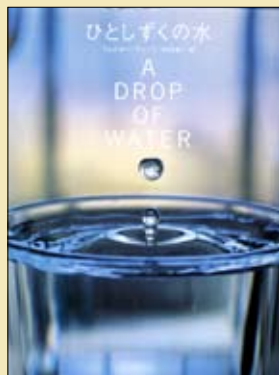
世界一つよい女の子ピッピ・ナガクツシタの奇想天外な物語。ピッピ・ナガクツシタ=へんてこな名前！そうピッピはちょっとへんてこな女の子。赤毛をきつくあんだぴーんとつきだしたお下げがみ、そばかすいっぱいの顔。足には、かたほうずつちがう色のくつ下に、足の倍の大きさのくつ。こんなピッピに何もおきないはずはないでしょう！？

アストリッド・リンドグレーン／作 大塚勇三／訳 岩波書店

日本のむかしばなし

多くの人知っている「花さかじい」をはじめ、たくさんあるむかしばなしのなかから、十三のおはなしをえらんだ本です。すもうで負けてばかりいる家のねずみに、おじいさんおばあさんがもちを食べさせ、強くなるにつれ二人もお金持ちになっていく「ねずみのすもう」など、明るくて、楽しいおはなしが集められています。

瀬田貞二／文
瀬川康男、梶山俊夫／絵
のら書店



ひとしずくの水

この本にはたくさんの美しい写真がのっています。でも写っているのはみんなもよく知っている水です。「なあんだ…。」なんて思わないでぜひ見てみてください。水って色々なすがたにかわるのです。

ウォルター・ウィック／作
林田康一／訳
あすなろ書房



1つぶのおこめ

ききんになってみんながひもじい思いをしているのに、王さまは、自分のところにあるおこめをみんなに分けあたえません。そこでかしいむすめラーナは、1つぶのおこめから始めて、日にちをおうごとに倍のおこめを30日間くださいと申し出ます。1つぶくらいならと思った王さまでしたが、30日目は、いったいいくつになっているのでしょうか？

インドの算数のおはなしです。

デミ／作 さくまゆみこ／訳

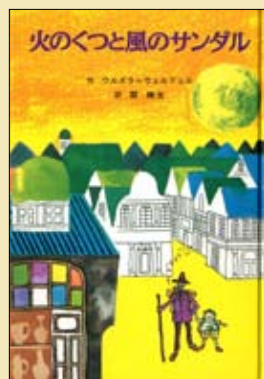
光村教育図書

火のくつと風のサンダル

チムは学校で一番小さくて、太った男の子。そのことでみんなにからかわれるので、「ほかの男の子になりたいと思っています。そんなチムが、夏休みお父さんと四週間の旅に出ました。そして旅の終わりには、チムは自分のことが大好きになったのです。

ウルズラ=ウェルフェル／作 関楠生／訳 久米宏一／絵

童話館出版

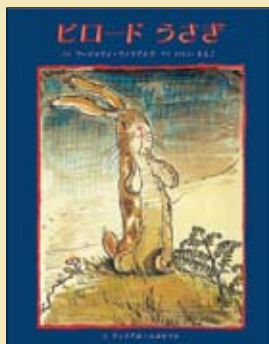


びりっかすの神さま

転校生の始が、新しい学校の教室で目にしたものは、なんと空中を飛んでいるすきとおった小さな男。それは、テストで最低点をとった子のところにあらわれる「びりっかすの神さま」だったんだ。

岡田淳／作

偕成社



ビロードうさぎ

ある年のクリスマスに、ビロードでできたうさぎが、贈り物としてぼうやのもとにやってきました。たくさんのおもちやにうもれて、ぼうやに忘れられ、しばらくしたある日、親切な木馬が「子ども部屋には、ときどき不思議な魔法がおこる」というのです。おもちゃでも、本当のものになれることがあるって。本当のものになるというのはどんなことでしょうか？ どうしたら、なれるのでしょうか？

マージェリィ・ウィリアムズ／ぶん いいい ももこ／やく
ウィリアム・ニコルソン／え 童話館出版

ホネホネたんけんたい

くねくねぐにやぐにや動くへビのホネってどんなかなあ？と思ったら、この本を読んでみてください。いろいろな動物のホネの写真がのっていて、それぞれのとくちょうがわかりやすく解説されています。ホネに関する不思議を探検する写真絵本です。

西澤真樹子／監修・解説 大西成明／写真
松田素子／文 アリス館



ぼくんちのねこのはなし

小学4年生の一真とくらすネコの『こたら』は16さいのおじいちゃんネコ。ごはんを食べず、ねてばかりで心配です。動物のお医者さんは、じんぞう病で治らないといいます。お別れの日が近づいている？家族みんなが『こたら』のためにいっしょうけんめい動きます。動物を大切にするとってどんなことなんだろう？

いとうみく／著 祖敷大輔／絵
くもん出版



ルイーヂといじわるなへいたいさん

ルイーヂはイタリアの男の子。土曜日はバイオリンをならうため、バスにのって国境をこえ、スイスのタリアティーニ先生をたずねます。国境では、兵隊さんが、密輸のにもつがないか調べます。ある日、新しい兵隊さんが、ルイーヂのおべんとうのサンドイッチをめくり、手作りケーキをわざとでつぶしてしまいます。おこったタリアティーニ先生は、「とくべつレッスン」で兵隊さんをこらしめようとしています。

ルイス・スロポドキン／作・絵 こみやゆう／訳
徳間書店



保護者の方へ 読書の楽しみを子どもたちに

子どもにとって読書は、言葉や知恵を身につけ、表現力や想像力を高め、感性を豊かにするなど、成長していく上で欠くことのできないものです。

子どもが自然に読書を楽しみ、習慣化するためには、大人も読書を楽しみながら、子どもに本を手渡していくことが大切です。

このブックリストは、中学年のお子さんに出会ってほしい本を選び、まとめたものです。ぜひ親子で読書を楽しんでください。

■横須賀市の図書館・図書室■

- ◆よやく 予約・かしたし 貸出には図書館カードが必要です。図書館カードはすべての図書館と、生涯学習センターやコミュニティセンターの図書室で作れます。
- ◆すべての図書館・図書室でへんきやく 貸出・へんきやく 返却・けんさく 予約・検索ができます。
- ◆パスワード登録をとうろく すると、図書館ホームページから、予約や、貸出中の本のきかんえんちよう 貸出期間延長ができます。

<http://www.yokosuka-lib.jp>



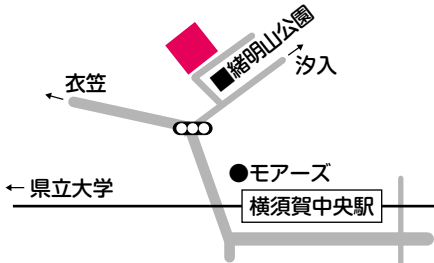
かいがんじかん 開館時間 9:30～17:20 ちゆうおう 中央・北・南の木、金曜日は19:20まで(祝日は除く)
きゆうかんび 休館日 月曜日(祝日は開館のため翌日)、第4木曜日、年末年始、図書整理期間

【図書館】

中央図書館

電話:822-2202

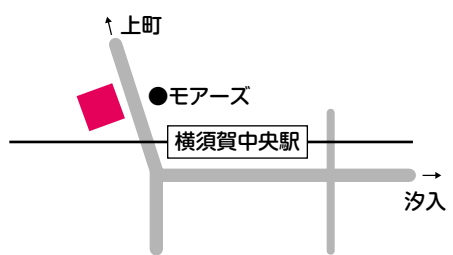
横須賀中央駅から徒歩10分



児童図書館

電話:825-4417

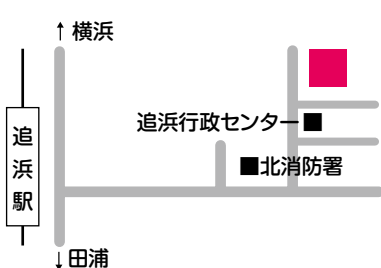
横須賀中央駅から徒歩1分



北図書館

電話:866-0516

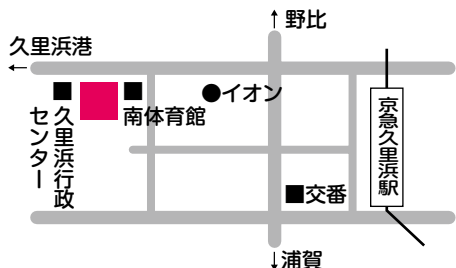
追浜駅から徒歩12分



南図書館

電話:836-0718

京急久里浜駅から徒歩10分



【図書室】

かいかんじかん

開館時間 9:00～17:00

きゅうかんび

休館日 第4木曜日の9:00～13:00と年末年始

ねんまつねんし

田浦コミュニティセンター 図書室 (Tel.861-9007)	船越町 6-77 (田浦行政センター内) 京急田浦駅から徒歩約5分
逸見コミュニティセンター 図書室 (Tel.823-3205)	東逸見町 2-29 (逸見行政センター内) 逸見駅から徒歩1分、またはJR横須賀駅から徒歩10分
衣笠コミュニティセンター 図書室 (Tel.852-3596)	公郷町 2-11 (衣笠行政センター内) JR衣笠駅から徒歩8分、またはバス停「衣笠十字路」から徒歩3分
大津コミュニティセンター 図書室 (Tel.835-2872)	大津町 3-34-40 (大津行政センター内) 京急大津駅から徒歩1分
浦賀コミュニティセンター 図書室 (Tel.841-4184)	浦賀町 5-1-2 (浦賀行政センター内) 浦賀駅から徒歩7分
北下浦コミュニティセンター 図書室 (Tel.849-2866)	横須賀市長沢 2-7-7 (北下浦行政センター内) 京急長沢駅から徒歩10分、またはYRP野比駅から徒歩15分
西コミュニティセンター 図書室 (Tel.857-0896)	長坂 1-2-2 (西行政センター内) バス停「横須賀市民病院」から徒歩5分
武山コミュニティセンター 図書室 (Tel.857-1600)	武 3-5-1 (武山市民プラザ内) バス停「南武入口」から徒歩3分、または「竹川」から徒歩4分
長井コミュニティセンター 図書室 (Tel.856-3123)	長井 5-16-5 バス停「長井小学校」から徒歩5分
生涯学習センター図書室 (Tel.822-4856)	西逸見町 1-38-11 (ウェルシティ市民プラザ5階) 逸見駅から徒歩5分、またはJR横須賀駅から徒歩5分 (第4木曜日は終日休館です。)

次の場所でも予約した本の受け取り、本の返却ができます。

問い合わせは中央図書館 (Tel.822-2202) へ

市役所市政情報コーナー	小川町 11 横須賀市役所 1階 横須賀中央駅から徒歩7分 開館時間 8:30～17:00 休館日 土、日、祝日、年末年始
鴨居コミュニティセンター	鴨居 3-11-12 「鴨居」バス停から徒歩2分 開館時間 8:30～21:00 休館日 年末年始
岩戸コミュニティセンター	岩戸 1-10-18 「岩戸」バス停から徒歩5分 開館時間 8:30～21:00 休館日 年末年始

